

東京都はスポーツ振興基本計画



「東京スポーツビジョン」を策定しました。

東京都は、平成14年7月に「生涯スポーツ社会の実現」を基本理念とし、だれもが、いつでも、どこでも、いつまでも、それぞれの年齢や技術・興味等に応じてスポーツを楽しむことができる社会を築くことを目指して、「東京スポーツビジョン」を策定しました。

東京スポーツビジョン(概要)

1 基本理念

スポーツ振興の基本理念を「生涯スポーツ社会の実現」とし、だれもが、いつでも、どこでも、いつまでも、それぞれの年齢や技術・興味等に応じてスポーツを楽しむことができる社会を築くことを目指します。

(3) 区市町村との役割分担と協働

都と区市町村の役割分担を踏まえ、都は府県行政に徹して、先導的・広域的な施策を展開します。

2 ビジョン策定の経緯

昨年夏に、第19期東京都スポーツ振興審議会の建議(「いきいき・はつらつ・スポーツ都市東京を目指して」)が出されました。この建議を受けて、東京都におけるスポーツ振興を総合的かつ計画的に推進するため、「東京スポーツビジョン」を策定します。計画期間は、平成14年から25年(国体開催年)までの12年間です。このビジョンは、スポーツ振興法における都のスポーツ振興基本計画に位置づけられます。このビジョンを参考に、各区市町村においてもスポーツ振興基本計画が策定されることを期待します。

4 スポーツ振興施策の具体的展開

都民のスポーツに対する関わり方を、「する」「みる」「支える」の3つのキーワードからとらえて、実践的で効果的な施策を展開することとします。なお、いずれかの観点から、すべての都民が東京国体に関わることを目指します。

(1) 「する」スポーツの振興

地域スポーツクラブを育成することを軸にして、「する」スポーツの振興を図ります。

- 【具体的施策】・地域スポーツクラブの育成
- ・高齢者、障害者スポーツの振興
- ・学校と地域社会の連携 等

(2) 「みる」スポーツの振興

スポーツを「みる」ことで、スポーツを「する」ことや「支える」活動への動機付けを図ります。

- 【具体的施策】・親子ふれあいスポーツ観戦事業の推進
- ・スポーツイベントの招致協力
- ・スポーツファン交流の推進 等

(3) スポーツを「支える」環境の整備

都民のスポーツ活動を「支える」環境の整備を図ります。

- 【具体的施策】・広域スポーツセンター事業の実施
- ・都立スポーツ施設の機能整備
- ・学校施設の開放 等

3 施策展開の3つの視点

(1) 「新しい公共」の創出

地域のスポーツ活動により、個人やNPO等が協働して、地域コミュニティの再生や、地域社会が抱える問題解決に参加する営みを生み出し、主体的な社会貢献を都民に促していきます。

(2) 地域の教育力の再構築

地域のスポーツ活動を通じて、大人と子どもがふれあう機会を拡大し、家庭・学校・地域の連携により、子どもの健全育成と、地域の教育力の再構築を図ります。

平成14年度スポーツボランティアリーダー養成講習会のご案内

東京都教育委員会は地域スポーツクラブの各種活動に関して、①企画、②運営の補助、③ボランティアの募集からスポーツ事業への参画まで計画的に実践する人材である「スポーツボランティアリーダー」の養成講習会を行います。

日程(※募集期間)	時間	定員	受講料	対象
11/15(金). 16(土). 17(日) 12/13(金). 14(土). 15(日) 1/17(金). 18(土). 19(日) ※ 9/16~10/15	平日 18:00~20:00 土・日 9:30~12:30 13:30~16:30	100名	6,300円	(1) 各区市町村教育委員会社会体育主管課から推薦を受けた者 (2) 都立高等学校等の校長から推薦を受けた教職員 (3) 公的スポーツ資格を有する20歳以上の者

お問い合わせは・・・

東京都教育庁生涯学習スポーツ部スポーツ振興課地域スポーツ係
電話03-5320-6872 FAX03-5388-1734

平成14年度「島嶼地区少年少女スポーツ交流大会」(新島大会)を開催!!

都教育委員会は平成14年7月20日(土)~21日(日)に、島嶼地区と都内の少年少女及び保護者がスポーツを通じて交流を図り、島嶼の地域スポーツクラブの育成を図る契機とする「島嶼地区少年少女スポーツ交流大会」を新島で開催しました。

当日は約150名の親子が参加し、野球やバレーボールの交流試合を楽しんだり、元プロ野球選手の関本四十四氏や高木豊氏、元全日本女子バレーボール監督の岩本洋氏や元女子バレーボール選手の細谷明美氏から指導を受けました。

